

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52231	幼児と環境 Infants and the environment	太田美鈴	○	共通	1	必修	1後期

科目の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されるように保育は環境を通して行う。保育内容環境のねらいや内容を理解し、保育の全体的構造の位置づけを知る必要がある。また、幼児の発達過程に応じた環境構成は、保育者が意図をもって構成しなければならない。さらに、幼児の興味関心に合わせながら再構成する重要性を理解する。そのために、環境型の指導計画の作成、改善を通して、環境構成と再構成の方法を習得する。★幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
① 幼児理解に基づいた保育の構想の重要性を理解する ② 幼児の特性を考慮した情報機器や教材の活用法を理解する ③ 具体的な保育内容を想定した指導計画の作成を理解する ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つ ⑤ 環境の特性に応じた実践の動向を知る	① 幼児理解に基づいた保育の構想ができる ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材を活用した保育ができる ③ 具体的な保育内容を想定し、指導計画を作成することができる ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つことができる ⑤ 環境特性に応じた実践動向を知り、改善に取り組むことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	環境の構成を積極的に考えることができる
	働きかけ力	
	実行力	環境構成に対していろいろなジャンルから調べ構築に活用できる。
考え抜く力	課題発見力	身近な環境から保育内容に関連付けてねらいや内容につなげることができる。
	計画力	
	創造力	環境のねらいと内容を自身の生活と経験と結びつけて考えることができる。
チームで働く力	発信力	考えた環境や内容ねらいを他者に幼児を意識して、わかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	相手の考えや、要点を理解して受け止め、自身との相違点も尊重することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：保育内容「環境」ミネルヴァ書房
 参考文献：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」「幼保連携型認定こども園保育教育要領解説書」、体験する・調べる・考える領域「環境」（萌文書林）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉）
 資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。	テキストや保育所保育指針等を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと 授業以外でも自主的に観察や世話を進んで行う

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	20	①	✓			・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の環境について理解できている。10点 ・環境構成での大切なポイントを理解し内容、ねらいを考えることができる。10点
				②				
				③	✓			
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓			チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点 演習準備に不備がない。5点 演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点 実践するための指導案を作成することができねらいと内容との整合性がある。10点 自身の学びのポートフォリオの作成ができている。10点 自身の生活や経過と結びつけて考え、調べ、工夫して作成していることが見て取れる。10点 植物の生長を観察する力が育ち、保育実践に関連付けて考えている。10点 環境構成の重要性を理解し、教材研究に努力した指導計画が作成できる。10点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 （実行力）畑の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。 （課題発見力）保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 （創造力）課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 （発信力）自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席をせず、授業を円滑に進行できるようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 演習支度を授業開始前に済ませ授業開始を待てる。 受講態度（学習意欲欠如）が見られる場合は減点対象である 6回以上の欠席は放棄判定となる	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
環境の特性を理解し、保育の内容を意識して環境構成する力を持つ。また、チームで積極的に取り組み、動植物の生育に対する観察・考察を深め、保育者を意識した取組ができる。 総合評価し90点以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	作品、レポートなど課題に対し保育者を意識した取り組みができる。 総合評価し79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス 人間の生活と環境	講義 人間にとって欠かせない環境についてグループワークする。また地球環境を考えることの必要性に気づく。	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の学修方法を知る。環境は人が生きていくうえで大切なものであることや幼児教育にとっての重要性を認識する。	(復習) プリントを読みこれからの授業内容を再確認し、今後の予定を立てる。	90	傾聴力 規律性
2	子どもと園の環境 生き物や植物、自然の事象に関心を持つ。芋ほりの指導計画を立案する。	グループワーク 芋ほりの指導案を立てる。指導案を解説しフィードバックする	子どもの発達と園の環境との関連性を見出し、環境や保育者の役割の重要性を指導案としてまとめることができる。	(予習) 園の環境について調べ学習をする。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	子どもの発達と環境とのかかわり① 具体的な活動や保育環境の工夫をする。	グループワーク 子どもの発達と環境とのつながりをまとめ、環境構成を考える。まとめを解説しフィードバックする。	誕生から満3歳までの発達にふさわしい環境とは何か、子どもの発達の歴史や特性を踏まえた環境構成について考えることができる。	(予習) 誕生から満3歳までの発達を調べておく (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	子どもの発達と環境とのかかわり② 発達に合わせた保育環境を考え、掲示物を作成する。	グループワーク 子どもの発達と環境とのつながりをまとめ、掲示物を作成する。作品を解説しフィードバックする。	幼稚園教育要領・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「環境」と年齢との関係性を整理することができる。	(予習) 指針や要領の保育内容環境の部分を抜き出しておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 創造力 柔軟性 規律性
5	幼児と楽しむ自然体験① 「見つけてみよう！探してみよう」	演習 保育内容「環境」とのつながりを考察する。作品を解説しフィードバックする	保育者は豊かな環境を構成する役割を担うため、五感を磨くための工夫が欠かせないことを理解する。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	幼児と楽しむ自然体験② 「フィールドビンゴ」	演習 保育内容「環境」とのつながりを考察する。作品を解説しフィードバックする	子どもが主体的に環境に関わることの重要性を体験を通して理解する。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	幼児と楽しむ自然体験③ 「自然を取り入れた遊びを考えよう」	演習 演習後保育内容環境とのつながりを考察する。作品を解説しフィードバックする	作業と関連づけ自然環境を生かした保育活動についてイメージする。人的環境と物的環境の重要な意味について学習する	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	教材研究① 「身近な素材を使って」	演習 課題を発表し合いグループで課題を整理する。発表を解説し、フィードバックする。	幼児が経験することは学校教育につながることを理解し、教材研究の必要性が分かる。	予習) 身近な素材を調べ保育内容としての活用を考える。 (復習) 本日の保育内容の指導計画を作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	保育内容「環境」を中心にした指導計画を作成する。 環境のねらいと内容を理解して指導計画に落とし込む。	演習 指導案を発表し合い、より良い内容になるよう検討する。指導案を解説しフィードバックする	自分で作成したものを発表し合い、より良い計画になるようにグループでまとめ完成することができる。	(予習) 指導案を作成する。 (復習) 指導案を比較し振り返る。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	教材研究② 様々な保育方法を研究し知識、保育実践力を深める。	演習 様々な保育について課題を考え、体験する。保育実践について解説しフィードバックする。	日本の文化や諸外国の文化を園生活に取り入れた保育内容を検討し合いまとめることができる。	(予習) 文化を調べ保育内容としての活用を考える。 (復習) 持ち寄った指導案を検討する。	90	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	環境型の計画計画を作成する。	演習 指導案を発表し合い、より良い内容になるよう検討する。指導案を解説しフィードバックする	日本の文化や諸外国の文化を園生活に取り入れた保育内容を検討し合いまとめることができる。	(予習) 指導案を作成する。 (復習) 指導案を比較し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
12	子どもの生活と安全な環境への配慮	演習（グループ） 保育所実習前に安全な保育について協議し、発表する。 発表を解説しフィードバックする。	子どもの安全に配慮した環境構成を発表し合い、理解し実践できる。う。	(予習) 保育室の安全な環境を考える (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
13	環境構成と遊びの発展① 「乳児の保育室の環境構成を考える」	グループワーク 事例をもとに乳児保育の環境を協議し発表する。発表を解説しフィードバックする	事例から乳児の発達を理解し、環境構成につなげて考えることができる。	(予習) 保育室の環境を構成するために必要なものを調べておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	環境構成と遊びの発展② 「幼児の保育室の環境構成を考える」	グループワーク 事例をもとに幼児の保育の環境を協議し発表する。発表を解説しフィードバックする。	各グループ発表を行い、互いに質疑応答を行うことで、より良い環境構成を理解する。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	環境構成と保育者の役割について	講義 15回のまとめを解説し、フィードバックする。 演習 環境について学修したことをまとめ掲示物を作成する。	保育者は、小学校や地域との連携などの役割があることを理解する。	(予習) 小学校への接続を考えた保育を考えた保育内容を編成する (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力